

第8期（2024年度）第3回サイエンスカフェ報告 ～視えない微生物の世界をイメージしてみよう～

開催日時 2025年7月13日(日) 13:30-16:30

開催会場 筑波大学 総合研究棟 A107 と実験室

参加者 高校生・大学生 7名

***** プログラム *****

- 1 講義 「微生物の世界への導入」
筑波大学 竹下典男 准教授
- 2 実験体験
- 3 交流会

大隅基礎科学創成財団では、「視えない微生物の世界をイメージしてみよう」をテーマに、サイエンスカフェを開催しました。まず、開催責任者である筑波大学・竹下典男准教授が講師として登壇し、微生物の世界への導入となる講義を行いました。微生物の発見と研究の発展の歴史、生命の多様性や進化、さらには微生物が環境・医薬・食・バイオテクノロジーに果たす役割について概説しました。また、顕微鏡観察を交えつつ、糸状菌と細菌の相互作用に関する研究についても紹介がありました。



実験では、参加者が二つのグループに分かれ、それぞれ二つの実験を行いました。一つ目の実験では、周辺の土1gを採取し、滅菌水で希釈したうえで寒天培地にまくという作業を行いました。参加者はその寒天培地を持ち帰り、数日間にわたって微生物コロニーの出現や成長を観察します。二つ目の実験では、あらかじめ用意した細菌、糸状菌、両者の共培養サンプルを、蛍光顕微鏡でそれぞれの形状や動きを観察しました。菌糸の周囲を動き回る緑色光の細菌を目にした瞬間には、参加者から驚きの声が上がリ、夢中になって観察する様子が見られました。

交流会では、参加者が研究者と直接話したり、自由に質問したりする時間となりました。「なぜ研究者になったのか」「どのようにして微生物に興味を持つようになったのか」といった質問に、研究者が一つひとつ丁寧に答えていきました。また、「動画が多く、講義がわかりやすかった」「微生物の重要性を初めて知った」「実際に動き回る微生物を見ることができて良かった」「微生物の生と死、そして進化について考えさせられた」といった感想が寄せられました。普段あまり意識されない微生物の存在を、身近に感じてもらえるきっかけになったようです。



最後に、本イベントの準備から当日の運営に至るまでご尽力くださった筑波大学の竹下典男准教授をはじめ、スタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団